

社団法人 地盤工学会  
**基 準 部 会**  
 平成 20 年度第 3 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 20 年 9 月 4 日 (木) 14:00~17:00					場所	地盤工学会 会議室	
部長	北詰 昌樹	○	★理事	江藤 芳武	○	幹事	仙頭 紀明	○
★部員	伊貝 聡司	×	★部員	長田 昌彦	×	部員	川崎 了	○
部員	岸田 潔	◎	部員	関野 武志	×	部員	豊田 浩史	○
部員	西岡 英俊	×	部員	平井 貴雄	×	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	寺本 邦一	×						

★：H20 年度新任      ○：出席予定      ☆：出席（電子会議）      ◎：代理出席      ×：欠席予定      △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-20.3.0	平成 20 年度第 2 回基準部会議事録案
資料-20.3.1	理事会 (7 月 31 日開催) 議題書
資料-20.3.2	日本工業規格 (JIS) 改正に関する日本工業標準調査会宛付議依頼文書
資料-20.3.3	室内試験規格・基準委員会報告資料 [8/26,27 議事録案]
資料-20.3.4	会員からの質問への対応 (室内試験対応)
資料-20.3.5	基準部からの要望に対する回答 (ふるい目に関する調査)
資料-20.3.6	地盤調査規格・基準委員会報告資料 [8/28 議事録案]
資料-20.3.7	環境調査関係基準番号表
資料-20.3.8	会員からの質問への対応 (地盤調査対応)
資料-20.3.9	第 44 回地盤工学研究発表会 ディスカッションセッションの申込み案内
資料-20.3.10	(基準の英訳版サンプル)
資料-20.3.11	
資料-20.3.12	
資料-20.3.13	
資料-20.3.14	
資料-20.3.15	
資料-20.3.16	
別添資料-20.3.1	岩盤不連続面の一面せん断試験方法解説原稿一式 (付属としてまえがき, 基準, 基準の英語版)

1. 前回議事録の確認

(資料-20.3.0)

一部修正を条件に承認された。(基準部関係委員会開催状況)

2. 全体関係

(1) 第 44 回地盤工学研究発表会 (関東大会) DS の開催について

(資料-20.3.9)

第 44 回地盤工学研究発表会の DS 開催に関するアンケートを各委員会が調査部事務局に提出する (締切 9/19)。DS にそぐわない場合は、個別の報告会として申請することも選択肢としてある。

理事会報告 3. 委員等の異動

(1) 交代

①地盤調査規格・基準委員会 WG11 (メール審議済み)

- ・西村 真二 委員 (UR 都市機構) →本間 史祥 氏 (同社)  
理由：転勤に伴う交代

(2) 追加

①地盤調査規格・基準委員会

- ・中村 洋丈 氏 ((株) 高速道路総合技術研究所道路研究部) WG5
- ・原田 克之 氏 (川崎地質 (株) 北日本支店技術部) WG6

理由：規格改正のため。前者は道路関係に精通している。

後者は過去の改正経緯に精通しているため。

上記委員の追加を承認した。

②地盤調査規格・基準委員会 (メール審議済み)

- ・森田 宏 氏 (国土交通省大臣官房技術調査課)

理由：今年度から来年度にかけて実施する、地盤調査関連 JIS 規格改定を行うために必要なので、上記委員を追加したい。

③ISO/TC190 国内専門委員会委員及び SC3/WG10 (スクリーニング法) 委員 (メール審議済み)

- ・佐々木 裕子 氏 ((財) 東京都環境整備公社東京都環境科学研究所)

理由：佐々木氏は東京都環境科学研究所で分析科長であるとともに、東京都が実施している簡易で迅速な分析法の公募調査にも深く関わっている優秀な専門家です。対外的にも、環境省の土壌・底質マニュアル及び同簡易法マニュアル委員、水分析法委員、環境省ダイオキシン類受注資格審査検討会主査、水の自動・半自動分析法委員、環境測定 JIS 検討委員会等の委員も務められており、土壌分野の分析に関するご検討をさせていただくに最適な人材です。TC190 国内専門委員会委員および SC3/WG10 (スクリーニング法) 委員として適任と考え、推薦いたします。

理事会報告 4. ISO 国内委員会 関係

(1) 海外派遣 (メール審議済み)

①第 4 回 ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) 会議の開催および出席

期 間：2008 年 9 月 11 日～9 月 14 日

訪問国：ドイツ・ベルリン (ドイツ標準局)

派遣者：坂井委員 (ISO/TC 190/SC 3/WG 10 Convener)

理 由：予備試験に関するガイドラインの第 3 稿について、関係執筆者を招集して最終原案を確定するための会議を開催するため (経済産業省受託事業での対応)。

②CEN/TC 292 (廃棄物) /WG3～WG5 合同会議への出席

期 間：2008 年 9 月 27 日～10 月 3 日

訪問国：ギリシャ・ハニア (ギリシャ標準局)

派遣者：坂井委員 (ISO/TC 190/SC 3/WG 10 Convener)

理 由：ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) では、地盤環境向けの予備試験法に関するガイドラインを作成しているが、関連する CEN/TC 292(廃棄物)でも、廃棄物向けの予備試験法を整備しようとしている。そこで、相互の内容に同様の概念が含まれてい

るため、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）のコンビナーとして、この会議に出席して早期に調整を図っておく必要が生じているため。なお、本件は、本年6月に開催されたCEN/TC 292で、当該議長からの要請事項でもある。（経済産業省受託事業での対応）

**※③として、前回議事録（理事会報告）にあるリトアニア出張が中止になった件も報告  
理事会報告**

① CEN/TC341/WG4（建造物の載荷試験）の中止

期間：2008年10月17日～10月21日（会議は19日）

訪問国：リトアニア

派遣者：西村 真二 氏

理由：主催者側の都合による

上記委員派遣の中止を承認した。

5. 地盤工学表記法委員会 関係

(1) 「用語対訳」の取扱いについて（継続）

審議事項無し。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

審議事項無し。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

審議事項無し。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

審議事項無し。

9. 販売促進 WG

審議事項無し。

10. 基準部所管刊行物

審議事項無し。

11. その他

規格・基準の解説および英訳は、報告事項とする。ただし、上申する委員会で完成度の高い資料を提出することが前提となる。以上をふまえて規格・基準の英訳のための参考となる資料を作成することになった。次回部会において海外基準の例文をもとにして議論する。例文の収集は岸田委員にお願いすることになった。

報告事項

1. 理事会（7月31日）開催報告

（資料-20.3.1）

前回部会より上申された事項が報告された。

2. 全体関係

(1) 室内試験関係規格改正原案の国土交通省への提出

（資料-20.3.2）

JIS規格改正の付議について報告があった。JISC土木部会の審議は来年2月頃の見通しである。その際、関連するWGから説明要員（オブザーバー）としてメンバーを派遣する必要がある。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO国内委員会

① ISO国内委員会開催報告

② 平成20年度ISO対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)	報告書の有無	(納期)	
<b>理事会報告</b> ・沿岸開発技術研究センター	100万円	○	2/20	
・土木学会		○		
・土木学会（上期）		×		
・土木学会（下期，英訳）		×		

・土木学会（下期，旅費）		×		
・日本規格協会（回答作成）	50万円 ※	○	2/未	
・日本規格協会（重点TC旅費）	60万円 ※	○	実施の都度	
・経済産業省	500万円 ※	○	3/16	
計	610万円	※：上限		

沿岸開発技術研究センターから ISO 対応活動費の資金援助要請が正式にあったことが報告された。

(2) 地盤工学表記法委員会

特になし。

(3) 室内試験規格・基準委員会

①室内試験規格・基準委員会開催報告

(資料-20.3.3)

第3回委員会の議事録をもとに活動報告があった。

**理事会報告**②「岩盤不連続面の一面せん断試験方法」解説

(別添資料-20.3.1)

基準の解説、英訳について報告があった。

③会員からの質問（1件）

(資料-20.3.4)

圧密試験に関する質問について報告があった。会員からの質問は、質問を受けた日付、内容、経過と回答をセットにして示すようにとの指摘があった。

④ふるいに関する国際的情勢調査

(資料-20.3.5)

資料 20-3-5 をもとに、加筆修正の上、質問をされた理事に個別に説明することになった。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

①地盤調査規格・基準委員会開催報告

(資料-20.3.6)

第2回委員会議事録をもとに報告があった。

②透気試験の基準番号

(資料-20.3.7)

環境調査関連基準番号について報告があった。

③会員からの質問（3件）

(資料-20.3.8)

平板載荷試験、簡易動的コーン貫入試験に関する質問について報告があった。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし。

(6) 販売促進 WG

特になし。

4. 日本工業標準調査会 土木部会の開催報告

特になし。

●H20年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日，太字は次回開催日
基準部会	北誥 昌樹	4/21, 7/18, <b>9/ 4,10/24</b>
ISO 国内委員会	木幡 行宏	6/27, <b>9/26</b>
・WG1 ISO/TC182 対応	(代行：木幡)	6/27, <b>9/26</b>
・WG2 ISO/TC190 対応	平田 健正	4/17WG10,5/ 9WG10,6/27WG10,8/ 5 <b>WG10,9/22 WG10</b>
・WG3 ISO/TC221 対応	三木 博史	7/ 9(広島)

室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性（土と岩） ・WG2 化学特性（H17 化学試験） ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性（土と岩） ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG8 特殊土 ・WG9 ベンダーエレメント試験基準化検討	後藤 聡 古河 幸雄 川地 武 大島 昭彦 龍岡 文夫 北誥 昌樹 木幡 行宏 三浦 清一 山下 聡	4/11,7/11(広島),8/1 幹事会,8/26-27 <b>10/3or10/6</b>  4/4 7/11(広島) 6/13(関西), <b>10/3</b> 4/16 7/10(広島) 7/9(広島)
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 原位置載荷 ・WG6 現場密度 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析(透気試験) ・WG9 傾斜計による岩盤内変位測定方法基準化 ・WG10 初期地圧の測定方法基準化 ・WG11 スウェーデン式サウンディング試験方法改正 ・WG12 貫入式地盤硬度計基準化	三村 衛 松島 潤 木村 英雄 井尻 裕二 田中 洋行 谷 和夫 小早川博亮 浅井健一 宮口 新治 亀村 勝美 石田 毅 藤井 衛 北村 良介	6/11,7/28WG,8/28, <b>9/25WG</b>  9/9  6/25 4/18, 6/27, <b>9/9</b> 5/9, 6/13,7/23, <b>9/8,10/7,11/14</b> 7/10(広島), <b>10/9</b>
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法	北誥 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明	4/2, 5/13,6/20, 7/9(広島), <b>9/9</b> 5/8,6/24,, <b>9/9,9/16</b> 5/21
地盤工学表記法 ・WG1 用語および用語の定義 ・WG2 データシートおよび情報化	岸田 隆夫 岸田 隆夫 (上原久典)	5/16

## 5. その他

1) 理事会（平成20年 9月26日（金）開催予定）への審議事項・報告事項

2) 総務部会（平成20年 9月8日（月）開催予定）への提案事項

3) 次回以降の部会開催日

- ・ 20年度第4回：平成20年10月24日（金）14:00時～  
（対応運営連絡会議 H20.10.31 または対応理事会 H20.11.28）
- ・ 20年度第5回：平成20年 月 日（ ）14:00時～  
（対応理事会 H20.11.28 or 1.30）

☆ 平成20年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎ 理事会

○ 運営連絡会議

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| ① 4月25日（金）       | ① 6月27日（金）  |
| ② 5月16日（金）       |             |
| ③ 5月29日（木）総会/理事会 | ② 10月31日（金） |
| ④ 7月31日（木）       | ③ 12月19日（金） |
| ⑤ 9月26日（金）       | ④ 2月27日（金）  |
| ⑥ 11月28日（金）      |             |
| ⑦ H20年1月30日（金）   |             |
| ⑧ 3月18日（水）       |             |

- 
- ⑨ 4月24日(金)
  - ⑩ 5月15日(金)
  - ⑪ 5月28日(木) 総会/理事会